



2020年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月30日

上場会社名 株式会社 アイ・エス・ビー
 コード番号 9702 URL <https://www.isb.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2020年11月16日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 若尾 逸雄
 (氏名) 竹田 陽一
 TEL 03-3490-1761

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	18,092	9.1	1,266	49.5	1,298	50.3	700	51.2
2019年12月期第3四半期	16,590	28.3	847	25.2	863	25.6	463	13.1

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 692百万円 (43.8%) 2019年12月期第3四半期 481百万円 (22.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	135.81	
2019年12月期第3四半期	90.71	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	13,064	8,277	63.4
2019年12月期	12,243	6,687	54.6

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 8,277百万円 2019年12月期 6,687百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		0.00		38.00	38.00
2020年12月期		0.00			
2020年12月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,631	9.4	1,533	28.4	1,581	28.8	851	34.4	165.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 1株当たり当期純利益については、2020年9月7日付で払込完了した公募増資分(479,000株)を考慮して算出しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期3Q	5,598,952 株	2019年12月期	5,105,800 株
期末自己株式数	2020年12月期3Q	56 株	2019年12月期	56 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期3Q	5,155,809 株	2019年12月期3Q	5,105,782 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大により、輸出業や製造業、サービス業を中心に急速に減速いたしました。緊急事態宣言の解除を機に経済活動は再開され、政府主導による景気対策も後押しする形で、個人消費は緩やかに回復傾向にあるものの、感染は全国に広まり、感染者数も増加するなど、依然として厳しい状況が続いております。

世界経済においては、同感染症の感染者数は増加傾向にあり、世界規模での感染拡大に歯止めはかからず、景気回復の目途は立っておりません。加えて、米中貿易摩擦は解決の糸口さえ見えておらず緊張感を増しており、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス産業におきましては、大手企業を中心としたIT関連投資は引続き高い水準にあり、人手不足を背景に業務の効率化や自動化等、関連する業務は堅調に推移いたしております。しかしながら、一部のユーザには、同感染症の影響が出ており、予断を許さない状況が続くと予想しております。

このような環境の中で、当社グループは今年で最終年度となる、中期経営計画の重点施策を着実に推進し、計画を達成すべく取り組みを進めてまいりました。同感染症による、開発中止や延期等の影響は、一部のプロジェクトでは出ておりますが、部門連携を図り補完のうえ、稼働率を維持する体制を取っております。また、在宅勤務やシフト勤務等を行い、感染リスクを低減する対応を取りつつ生産性に対する影響を最小限にする取り組みを行っております。加えて、全般的に経費が圧縮されたことにより、当第3四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高180億92百万円（前年同四半期比9.1%増）、営業利益12億66百万円（前年同四半期比49.5%増）、経常利益12億98百万円（前年同四半期比50.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益7億円（前年同四半期比51.2%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(情報サービス事業)

情報サービス事業では、好調な企業のIT関連投資を受け、引き続き堅調に推移いたしました。「モバイルインフラ」は、基地局開発の業務の低コスト化の影響を受けましたが、5G関連の開発評価業務が増加したことを受け、「組込み」は、車載や医療、デバイス関連業務の受注が堅調に推移したことにより、「業務システム」は、放送系業務では、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により受注は減少しましたが、受託開発案件の受注増加や、業務効率化のシステム開発投資拡大等を受け、売上高は前年同四半期に比べ増加いたしました。「公共」は、自治体向け業務が、増加しており、「金融」は、証券系のシステム開発業務の受注が増加いたしました。「フィールドサービス」は、クラウド系の業務は減少したものの、サーバ・ネットワーク構築業務が拡大しており売上高も堅調に推移いたしました。

一方、「携帯端末」は、モバイル端末管理ソフトの開発業務は増加しましたが、主要メーカーのスマートフォンの新規開発機種減少や開発費削減の影響は大きく、前年同四半期に比べ売上高は減少いたしました。

利益面に関しましては、売上の増加に伴う増収や、生産性、要員稼働率の向上やグループ経営戦略の推進による事業見直しの成果に加え、全般的に経費が圧縮されたことにより、セグメント利益は前年同四半期に比べ大幅に増加いたしました。

以上の結果、当事業における売上高は151億35百万円（前年同四半期比9.1%増）、セグメント利益は10億36百万円（前年同四半期比53.9%増）となりました。

(セキュリティシステム事業)

セキュリティシステム事業は、大型案件や既存セキュリティシステムのリニューアル工事を中心に受注が堅調に推移いたしました。また、「建設キャリアアップシステム（CCUS）」に対応したカードリーダー等についても好調に推移いたしました。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による工期や納期の延長による影響が出始めておりますが、売上高は前年同四半期に比べ大幅に増加いたしました。

利益面に関しましては、売上の増加による増収により、前年同四半期に比べ増加いたしました。

以上の結果、当事業における売上高は29億57百万円（前年同四半期比9.0%増）、セグメント利益は2億26百万円（前年同四半期比42.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末において、資産は、130億64百万円と前連結会計年度末より8億20百万円増加いたしました。これは主として現金及び預金や受取手形及び売掛金等の増加額が、のれん等の減少額を上回ったことによるものであります。

負債は、47億86百万円と前連結会計年度末より7億69百万円減少いたしました。これは主として未払消費税等や賞与引当金等の増加額を短期借入金や未払金等の減少額が上回ったことによるものであります。

純資産は、82億77百万円と前連結会計年度末より15億90百万円増加いたしました。これは主として増資による資本金および資本準備金や利益剰余金の増加によるものであります。

なお、自己資本比率は 63.4%と8.8ポイント改善いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は、計画通り推移しており、各利益につきましては、計画値を上回って推移しておりますが、景気の先行きに不透明な要因も認められるため、2020年7月31日公表の「第2四半期連結業績予想数値と実績数値の差異および通期連結業績予想修正に関するお知らせ」から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,677,211	4,683,608
受取手形及び売掛金	4,218,860	4,330,321
前払費用	132,568	140,932
商品	466,347	504,436
仕掛品	142,841	138,732
貯蔵品	2,091	1,819
その他	132,290	51,769
貸倒引当金	△32,357	△33,638
流動資産合計	8,739,855	9,817,981
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	455,815	451,051
減価償却累計額及び減損損失累計額	△286,577	△290,111
建物及び構築物 (純額)	169,238	160,939
土地	605,084	600,550
その他	548,145	598,326
減価償却累計額及び減損損失累計額	△420,190	△430,517
その他 (純額)	127,955	167,808
有形固定資産合計	902,277	929,298
無形固定資産		
のれん	1,637,246	1,275,886
その他	70,111	77,169
無形固定資産合計	1,707,358	1,353,056
投資その他の資産		
投資有価証券	429,168	427,771
長期前払費用	3,850	4,092
差入保証金	244,833	264,935
繰延税金資産	145,997	193,062
その他	76,631	76,967
貸倒引当金	△6,677	△2,902
投資その他の資産合計	893,804	963,928
固定資産合計	3,503,440	3,246,283
資産合計	12,243,296	13,064,264

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,412,670	1,313,383
短期借入金	1,320,000	440,000
未払金	981,731	501,146
未払費用	77,369	152,714
未払法人税等	373,184	393,270
未払消費税等	342,967	449,713
賞与引当金	20,374	470,283
役員賞与引当金	55,072	49,375
受注損失引当金	2,135	7,229
その他	430,618	460,261
流動負債合計	5,016,122	4,237,379
固定負債		
社債	16,000	—
長期借入金	9,690	—
退職給付に係る負債	206,663	222,691
役員退職慰労引当金	200,458	47,311
資産除去債務	75,528	81,177
繰延税金負債	22,895	—
その他	8,409	198,141
固定負債合計	539,645	549,321
負債合計	5,555,767	4,786,701
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,707,526	2,253,065
資本剰余金	2,311,704	2,857,244
利益剰余金	2,564,366	3,070,541
自己株式	△92	△92
株主資本合計	6,583,504	8,180,758
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	135,317	132,370
為替換算調整勘定	△31,293	△35,565
その他の包括利益累計額合計	104,023	96,804
純資産合計	6,687,528	8,277,562
負債純資産合計	12,243,296	13,064,264

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	16,590,661	18,092,794
売上原価	12,793,171	13,745,907
売上総利益	3,797,489	4,346,886
販売費及び一般管理費	2,950,406	3,080,308
営業利益	847,083	1,266,578
営業外収益		
受取利息	3,644	5,775
受取配当金	11,223	14,919
保険解約返戻金	8,732	—
受取保険金	10,000	—
受取補償金	—	18,890
その他	3,857	16,187
営業外収益合計	37,458	55,773
営業外費用		
支払利息	8,849	4,625
新株発行費	—	15,953
新株予約権発行費	6,350	—
手形売却損	2,695	2,276
その他	2,829	811
営業外費用合計	20,725	23,667
経常利益	863,816	1,298,684
特別損失		
固定資産売却損	—	566
特別損失合計	—	566
税金等調整前四半期純利益	863,816	1,298,117
法人税、住民税及び事業税	517,354	666,586
法人税等調整額	△116,692	△68,661
法人税等合計	400,661	597,925
四半期純利益	463,155	700,192
親会社株主に帰属する四半期純利益	463,155	700,192

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	463,155	700,192
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,716	△2,947
為替換算調整勘定	△1,883	△4,271
その他の包括利益合計	18,833	△7,218
四半期包括利益	481,988	692,973
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	481,988	692,973

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、有償一般募集による新株式発行を行い、資本金536,001千円、資本剰余金536,001千円がそれぞれ増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金2,253,065千円及び資本剰余金2,783,065千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、当事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年1月1日 至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		調整額(注)	合計
	情報サービス	セキュリティシステム		
売上高				
外部顧客への売上高	13,876,275	2,714,385	-	16,590,661
セグメント間の内部 売上高又は振替高	67,634	3,758	△71,393	-
計	13,943,910	2,718,144	△71,393	16,590,661
セグメント利益	673,392	159,410	14,279	847,083

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごと固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの額の重要な変動)

「情報サービス」セグメントにおいて、株式会社テイクスおよびコンピュータハウス株式会社の発行するすべての株式を取得し(株式会社テイクスは間接保有)、連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては、1,512,805千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年1月1日 至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		調整額(注)	合計
	情報サービス	セキュリティシステム		
売上高				
外部顧客への売上高	15,135,128	2,957,665	—	18,092,794
セグメント間の内部 売上高又は振替高	62,770	10,232	△73,002	—
計	15,197,899	2,967,897	△73,002	18,092,794
セグメント利益	1,036,372	226,413	3,791	1,266,578

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごと固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。